



平成 30 年 5 月 8 日

各 位

会 社 名 デジタルアーツ株式会社
代 表 者 氏 名 代表取締役社長 道具 登志夫
(コード番号: 2326 東証第一部)
問 合 せ 先 取締役 管理部長 赤澤 栄信
(TEL 03-5220-6045)

業績予想（個別）と実績値の差異及び特別損失（個別）の計上に関するお知らせ

平成 30 年 3 月期第 4 四半期におきまして、下記の通り特別損失の計上を行うことといたしました。併せて、平成 29 年 5 月 9 日に公表いたしました平成 30 年 3 月期の業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 個別決算における特別損失の発生について

当社は平成 26 年 4 月に米国子会社 FinalCode, Inc. を設立し、グローバルでの業務拡大を目指しております。設立以来、北米を中心にファイル暗号化・追跡ソリューション「FinalCode」が各種アワードを受賞するなど、認知度向上・製品評価については一定の成果を得ることが出来ましたが、当初の計画に対して実績が未達となっていることから、現地の組織体制を大幅に見直し、新たにグローバル経営経験豊富な経営者を CEO として迎え入れ、新体制、新ビジネスプランの下、事業拡大を目指すことと致しました。これに伴い、過年度までの投資を清算することとし、当該子会社の株式について子会社株式評価損 916 百万円を平成 30 年 3 月期の個別決算において特別損失に計上いたしました。

なお、当該子会社株式評価損につきましては、連結決算上は相殺消去されるため、連結決算に与える影響はありません。

2. 業績予想と実績値との差異について

平成 30 年 3 月期個別業績予想と実績値との差異
(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	5,550	2,350	1,621	117.31
実 績 値 (B)	5,046	2,097	860	62.07
増 減 額 (B - A)	△503	△252	△760	
増 減 率 (%)	△9.1	△10.7	△46.9	
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 3 月期)	5,104	2,056	1,339	96.31

3. 差異の理由

売上高につきましては、平成 29 年 3 月期の公共向け市場における特需の剥落があったことを主要因として、特に公共向け市場での国内販売が伸び悩んだことに伴い、前回発表を下回る見込みとなりました。また、経常利益につきましては、戦略的ナリソースの適正配分を通じた人件費の抑制等の効果により、前回発表予想との乖離幅は売上高と比較して縮小する見込みです。一方で、当期純利益につきましては、上記の特別損失の計上により、前回発表予想を下回る見込みとなりました。

以 上